

パキスタン国畜産開発を通じた生計向上 プロジェクト 第2号：2023年8月



○これまでの活動進捗の概要

プロジェクトも3年目に入り、乳量増加に伴い農家の人々からの喜びの声とプロジェクトへの信頼が芽生え始めています。そんな成功事例を本号では紹介させていただきます。

○女性パイロット農家 ザйнаブ・ビビさん



Mansehra 県 Malikpur 村のビビさん、以前は適切な家畜管理ができないことで、水牛は常に病気がちとなり、乳が全く出ないこともありました。家族は家畜を手放すことを検討するなか、ビビさんはあきらめることなく、プロジェ

クトチームから飼料や水の管理、正しい搾乳技術に関する技術指導を19ヵ月間、意欲的に学び、実践してきました。その結果、彼女の水牛の乳量は5リットルから10リットルまで増加しました。以前は乳房炎(*注1)に罹患することも珍しくありませんでしたが、正しい搾乳技術を学び実践することで乳房炎はなくなりました。現在は十分なお金を貯めることができ水牛2頭を購入することが出来ました。更に、新しい家畜や飼料を購入したり、家畜小屋を建てたり、食料品や薬を買ったりできるようになりました。彼女はこのプロジェクトに参加できたことに喜びを感じ、感謝しています。彼女は今後も適正技術の実践を継続し、その経験を近隣の人々と分かち合いたいと思っています。



○男性パイロット農家 ムハンマド・リアズさん

Mansehra 県 Cheirh 村のリアズさん、プロジェクト開始当初は家畜管理の適正技術に懐疑的でありましたが、成功した技術を見て関心を持ち、熱心に取り組むようになりました。



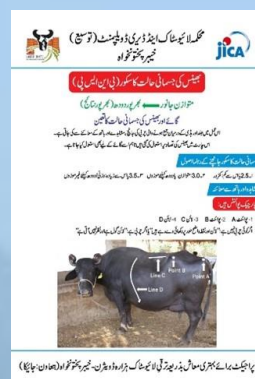
配合飼料の適切な使用により、乳量は12リットルから15リットルに増加、以前よりも長期間ピークを維持することができ

き、家畜の健康と繁殖状態は改善されました。プロジェクト指導前、リアズさんの農場の乳房炎の割合は40%でしたが、正しい搾乳技術を用いることで、罹患率0%を現在は維持できています。当初、リアズさんは CIDR(*注2)を実施することにも恐れていましたが、CIDR 技術の使用により3頭の水牛はすべて発情し、妊娠、分娩に成功、新たに3頭の子牛を得ることができました。それらのポジティブなインパクトの結果、彼の収入は以前より向上しました。今ではお金を貯めることができ、教育や他の必需品等、家族のためにお金を使うことができます。彼はプロジェクトによる指導の効果に大きな喜びを感じています。

○適正技術の普及活動開始

約2年間、Abbottabad、

Mansehra、Haripur 県 11 村のパイロット農家での畜産管理指導から適正技術が実証され、普及活動を開始しました。即効性のある乳量増加の3つのトピック(正しい量の配合飼料給与、水牛栄養スコア、正しい搾乳技術)を教材



として取り上げました。獣医アシスタント向けの普及マニュアルも作成し、2023年2月と7月には獣医アシスタント11名への普及研修を実施し、ジェンダーの視点を含めた適正技術の農民への普及研修の実施体制を整備しました。最初の農民普及研修は Abbottabad 県 Malkan 村で実施され、参加者の興味と理解が促進されています。



*注1：乳房炎とは、外傷や感染症、不衛生が原因で乳腺等が炎症を起こし、乳汁分泌の異常や減少、乳質の悪化につながる炎症のこと。

*注2：CIDR (Control Internal Drug Release)：T字型の器具を膣内に11日間留置し、その後抜き、2~3日後に発情がみられる。無発情の治療や発情の同期化に使用される。